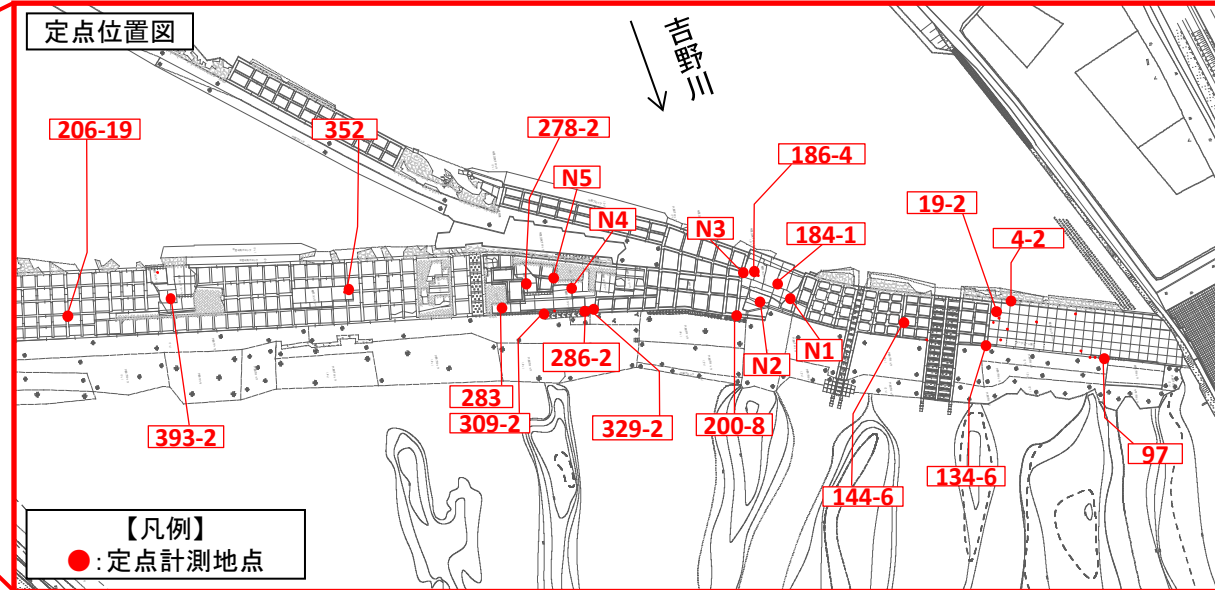
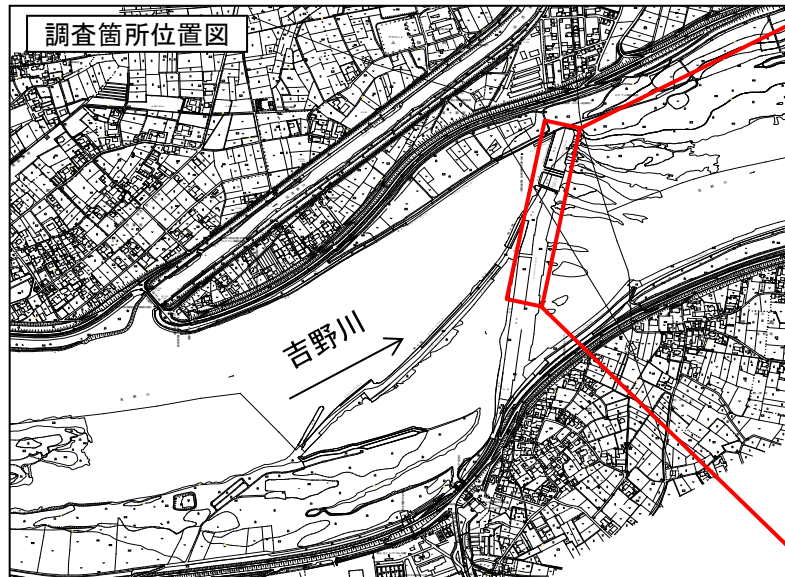


形状調査 《別添－1》

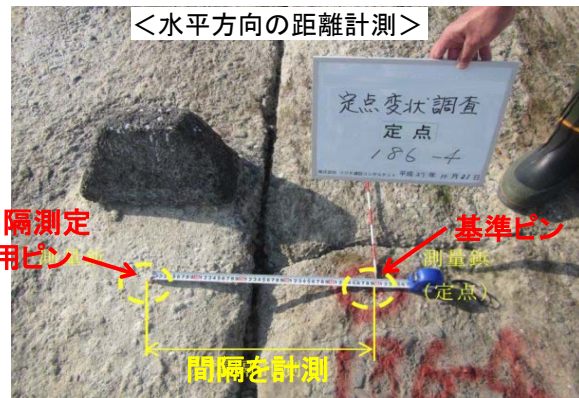
形状調査 概要

(1) 調査実施箇所

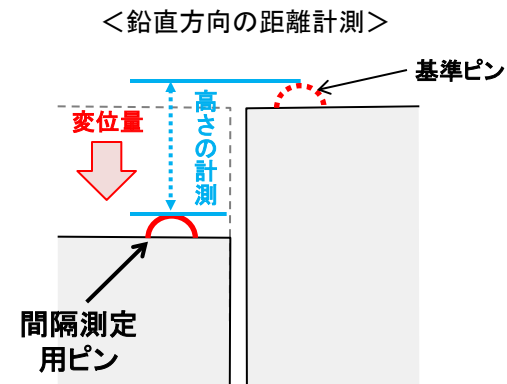
平成16年度調査で抽出した主な変状箇所を定点観測地点として設定し、定性的及び定量的に変状を把握するため、変状箇所の状況確認及び変位量を計測する調査を行っています。



● 定点変位量調査



現地に設置している基準ピンと間隔測定用ピンの間隔をメジャーにより簡易計測することで、経年的な変位量を定量的に把握しています。

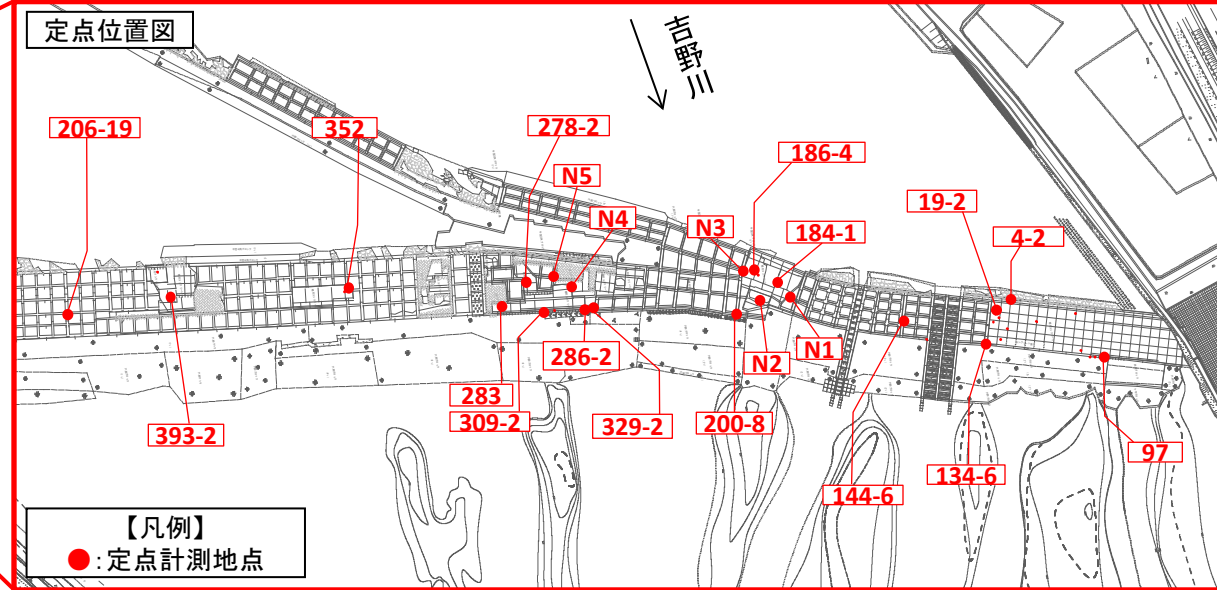
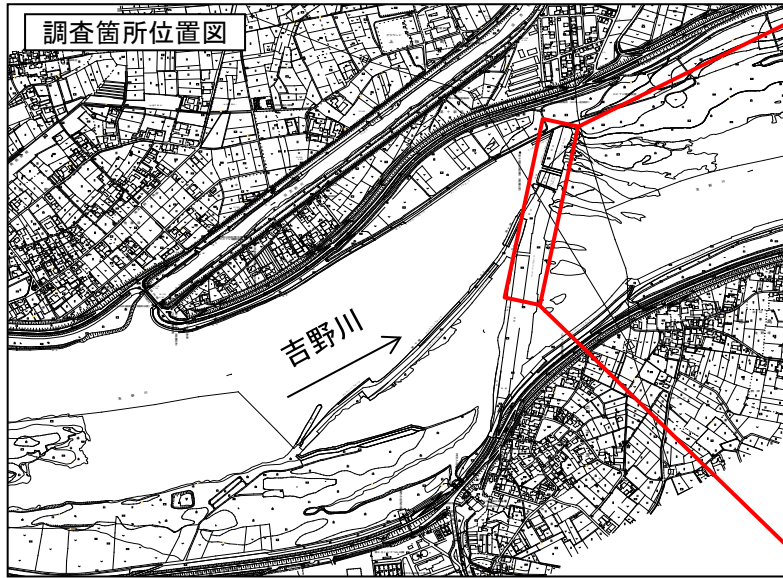


現地に設置している基準ピンと間隔測定用ピンの鉛直方向の間隔をメジャーにより簡易計測することで、経年的な変位量を定量的に把握しています。

形状調査（定点変位量調査）

(2) 調査結果

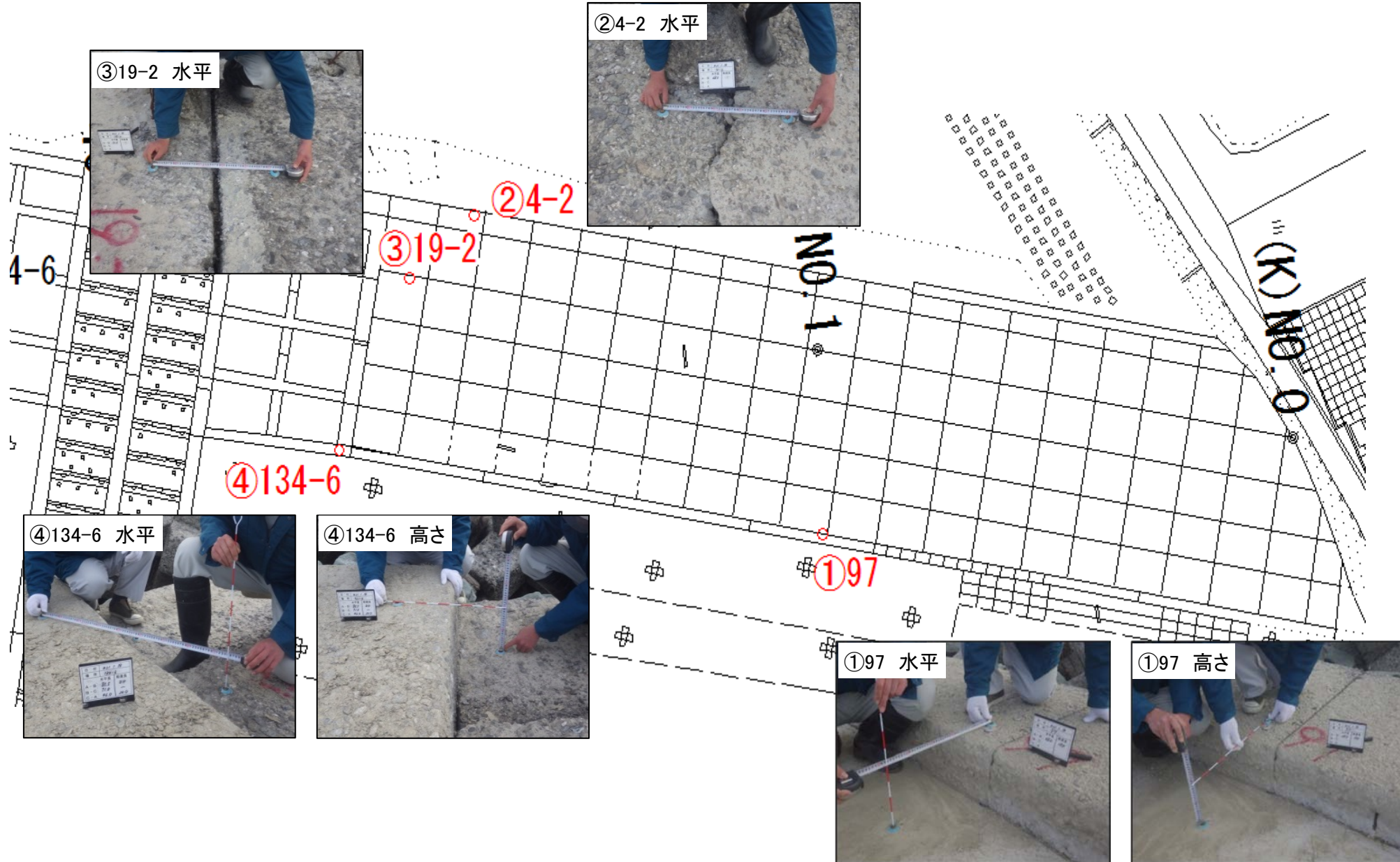
平成30年度の形状調査結果は下記の表のとおりで、地点番号97で約3.5cmの変位（沈下）がありました。その他の箇所では変化は確認されませんでした。



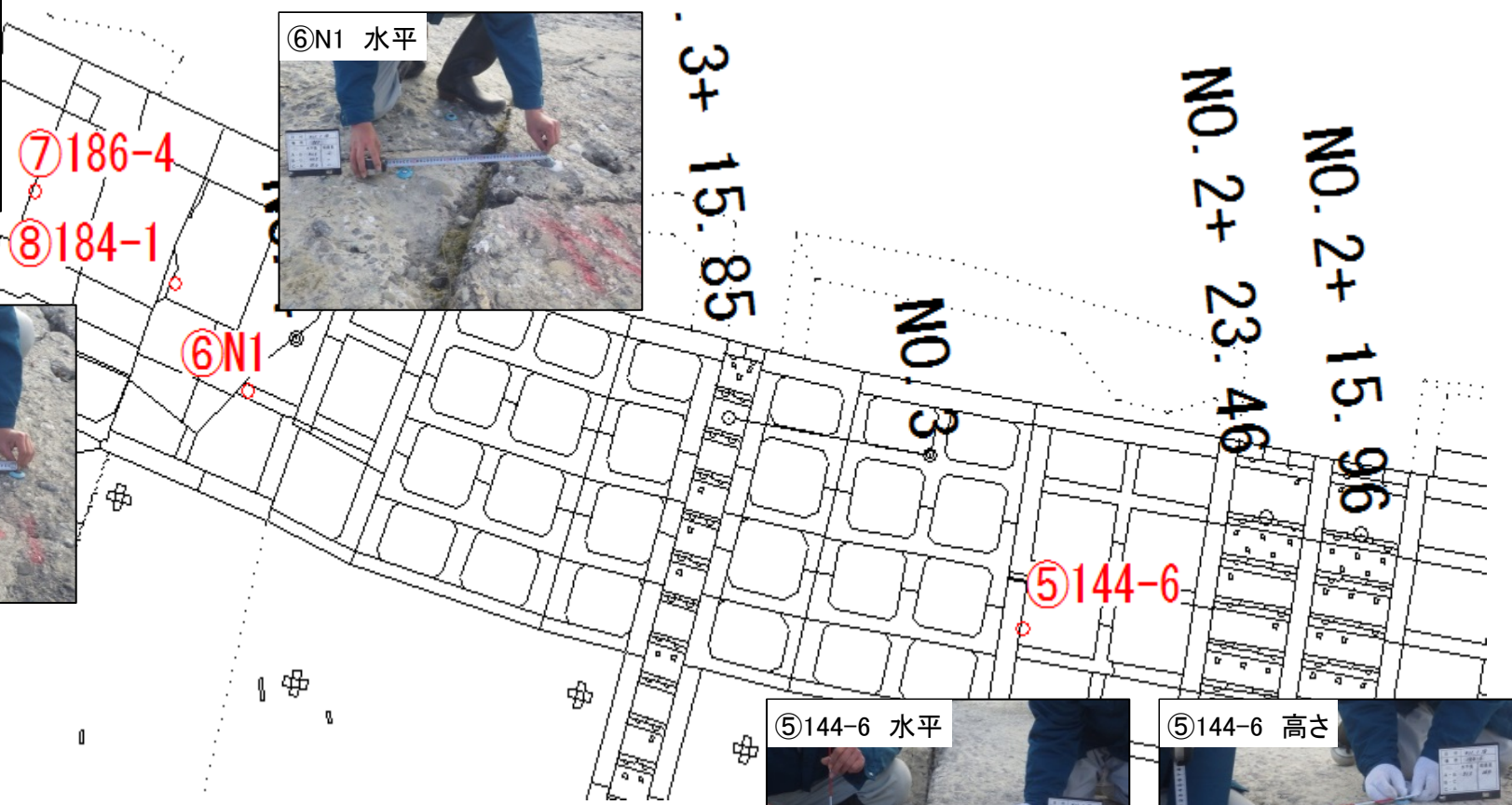
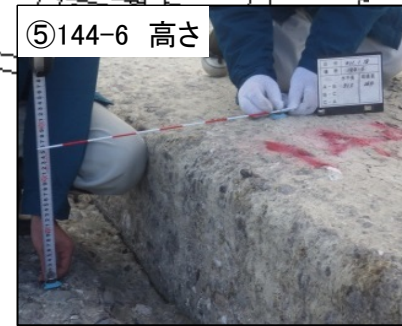
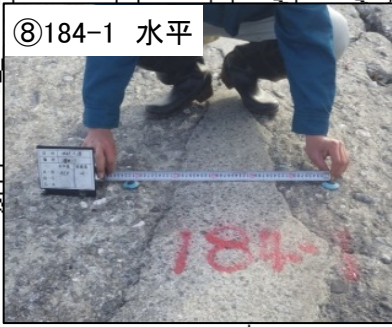
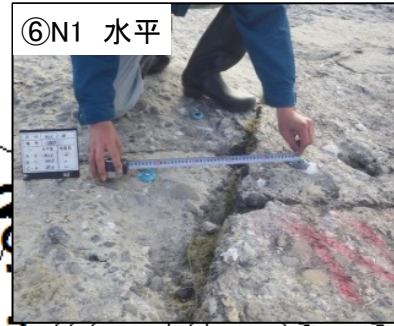
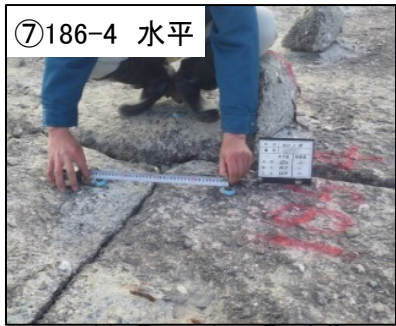
地点		平成29年度結果		平成30年度結果		差分(H30-H29)		地点		平成29年度結果		平成30年度結果		差分(H30-H29)	
番号	内容	ピン間隔 (水平・cm)	ピン間隔 (高さ・cm)	ピン間隔 (水平・cm)	ピン間隔 (高さ・cm)	水平(cm)	高さ(cm)	番号	内容	ピン間隔 (水平・cm)	ピン間隔 (高さ・cm)	ピン間隔 (水平・cm)	ピン間隔 (高さ・cm)	水平(cm)	高さ(cm)
97	植石コンクリート隙間	48.0	15.5	48.0	19.0	0.0	3.5	329-2	植石コンクリート沈下	53.0	17.0	53.0	17.0	0.0	0.0
4-2	植石コンクリートクラック	48.0	-	48.0	-	0.0	-	286-2	植石コンクリート隙間	58.0	-	58.0	-	0.0	-
19-2	植石コンクリート隙間	52.5	-	52.5	-	0.0	-	N4	植石コンクリート隙間	45.0	14.0	45.0	14.0	0.0	0.0
134-6	コンクリート枠沈下	46.0	20.0	46.0	20.0	0.0	0.0	N5	植石コンクリート隙間	55.0	-	55.0	-	0.0	-
144-6	コンクリート枠沈下	50.0	22.0	50.0	22.0	0.0	0.0	309-2	植石コンクリート隙間	49.5	6.5	49.5	6.5	0.0	0.0
N1	植石コンクリート隙間	39.0	-	39.0	-	0.0	-	278-2	植石コンクリート隙間	48.0	-	48.0	-	0.0	-
186-4	植石コンクリート隙間	50.5	-	50.5	-	0.0	-	283	植石コンクリート破損	56.0	-	56.0	-	0.0	-
184-1	植石コンクリートクラック	51.5	-	51.5	-	0.0	-	352	植石コンクリート破損	96.0	18.5	96.0	18.5	0.0	0.0
N3	植石コンクリート隙間	47.0	6.5	47.0	6.5	0.0	0.0	393-2	植石コンクリートクラック	86.5	-	86.5	-	0.0	-
N2	植石コンクリート隙間	123.0	10.0	123.0	10.0	0.0	0.0	206-19	コンクリート枠隙間	52.0	8.0	52.0	8.0	0.0	0.0
200-8	コンクリート枠隙間	48.0	7.0	48.0	7.0	0.0	0.0								

形状調査 (定点変位量調査)

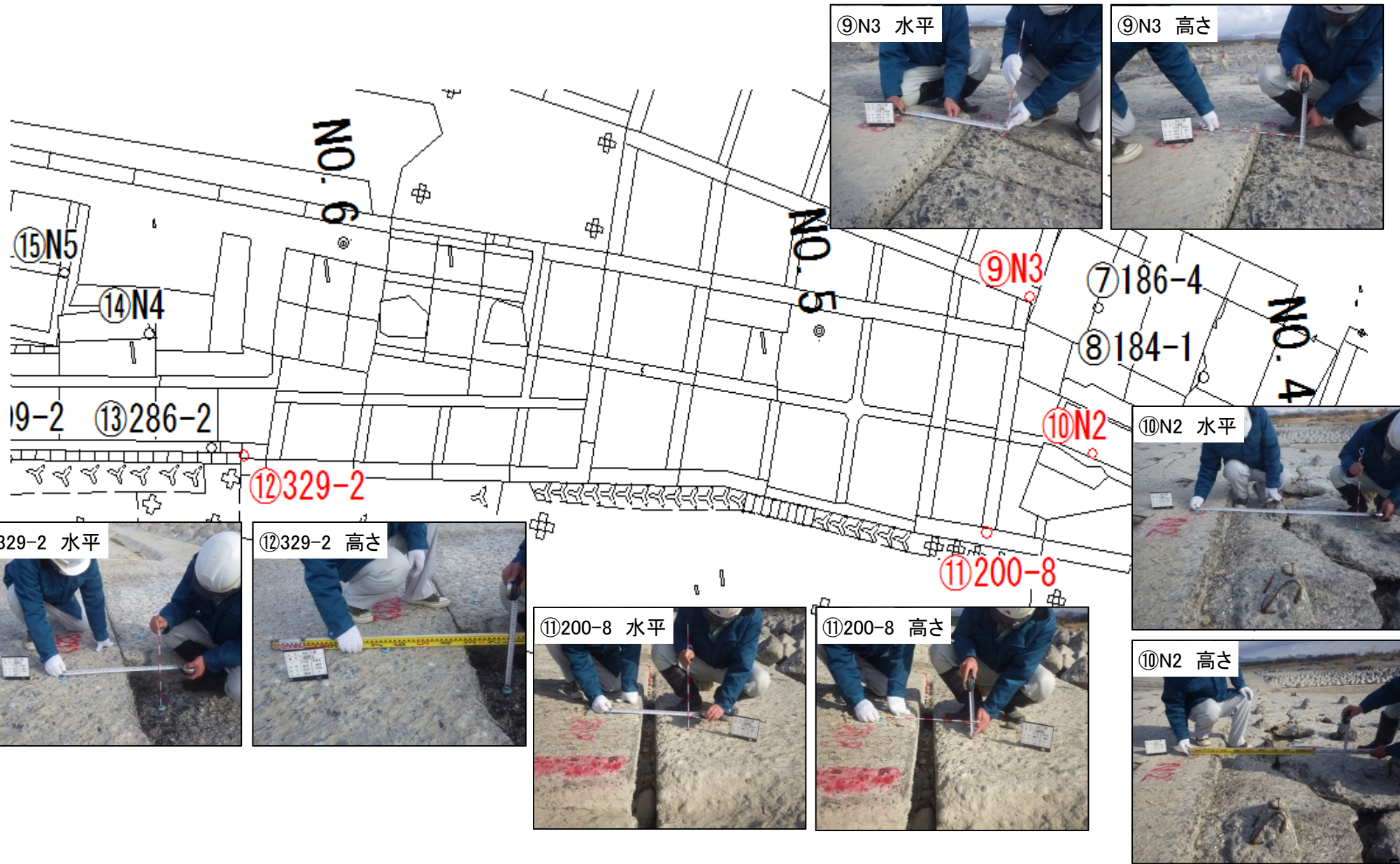
(2)調査状況写真



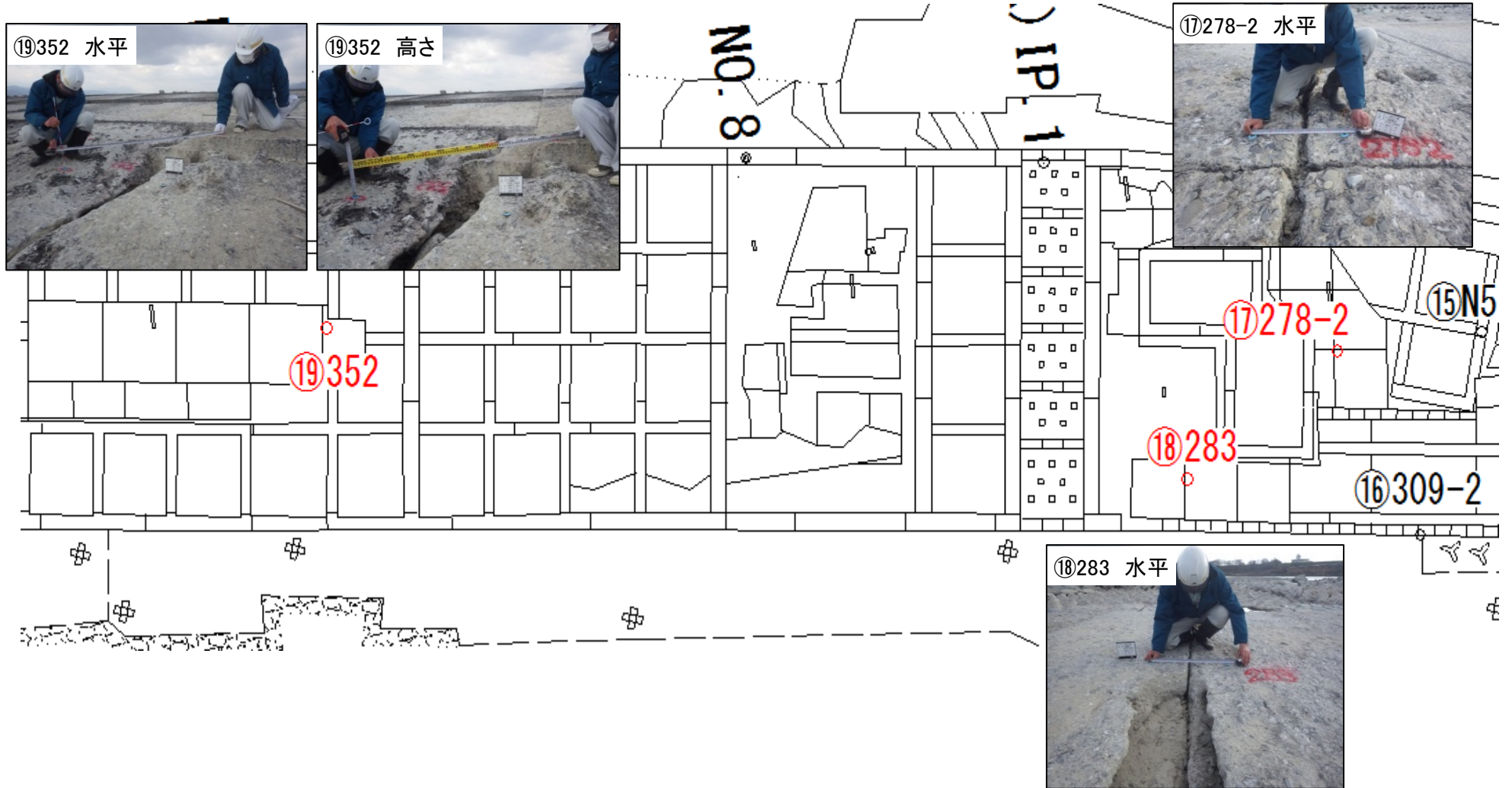
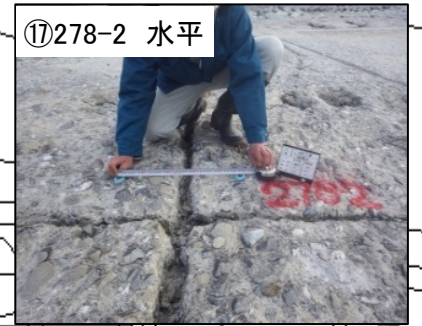
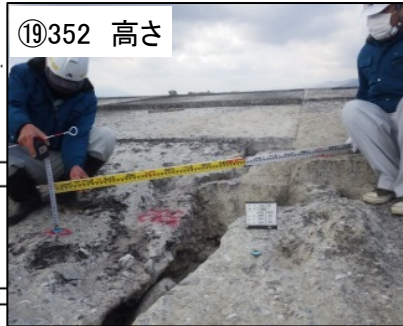
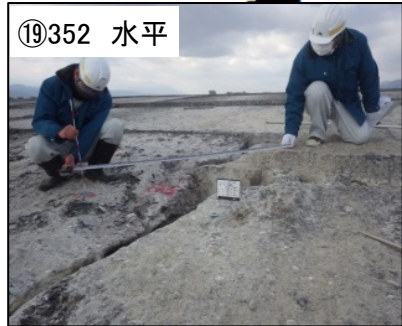
形状調査（定点変位量調査）



形状調査（定点変位量調査）



形状調査（定点変位量調査）



形状調査（定点変位量調査）

